

～下畑地区より～

第21回下畑地区神楽公演



高井神楽団



6月4日(日)、第21回下畑地区神楽公演が下畑交流館にて開催されました。今年は高井神楽団(広島市佐伯区八幡)が約6時間、「紅葉狩」「大江山」「塵倫」などを披露。毎年6月の第一日曜日に行われる神楽公演は、地域内外から大勢の方が来場されます。今年は、約200名の来場者があり、会場も駐車場も満員御礼でした！

スピード感のある立ち回りや面の早変わり、鬼女や狐は天蓋(てんがい)に登ったり、ぶら下がったりと、初めて観る展開に客席からは歓声が上がっていました。アンコールを含めた公演は会場全体が一体となり、拍手喝采のなかでの終了となりました。

神楽公演を主催する「下畑神楽愛好会」は、新舞の神楽を皆さんに楽しんでもらおうと、毎年頑張って準備されています。お客様が楽しめる姿は、来年へ向けての活力維持につながっています。

来場された方々の中には、初めて下畑へ来た方もおられ、更なる関係人口増加へとつながってくれることに期待します。

～長谷地区より～

5月19日(金)、美和地域自治会連合会総会にて「長谷みどりの会」を代表し、篠田三宜会長と上村博雅副会長が活動報告を行いました。同会は、長谷地区ふるさとづくり推進協議会の中から、地域活性化を目的とした活動を行うために発足されました。

活動を始めたきっかけや、美和中学校と協働し行っている和紙づくり事業のこと、補助金を活用した成果などを発表されました。

最後に「これらの活動は、地域住民と関係機関の協力があるからこそできています。活動を通し、地域の活力維持につなげていきたいです。」と締めくくり、他地域の方にとって参考になる発表となりました。

手すき和紙での卒業証書は、8年間で231名に授与され、その功績が認められ「県民活動きらめき賞」を受賞しています。

これからも集落支援員として、取り組みが継続できるように、支援していきます。

